

第2学年 算数 学習指導案

「たし算のきまり」 大日本図書 P28・29

＜ICTの活用＞

授業形態	■一斉学習 □グループ学習 □ペア学習 ■個別学習
ICT活用の場面	■導入 ■展開 ■まとめ ■評価問題
ICT活用者	■指導者 ■児童 □その他()
ICT活用の目的	■資料(問題等)の提示 ■自分で考える □GやPで交流する ■全体で交流する ■考えをまとめる □学習の振り返り ■評価問題を解く □記録(写真・動画等) □プレゼンの作成
活用機器	■投影黒板 ■指導者用タブレット端末 ■児童用タブレット端末 □その他
活用コンテンツ	●SKYMENU Class(発表ノート) ●PowerPoint
ICT活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> • PowerPoint を使って本時の問題を提示し、意欲を高める。問題のポイントとなる個数を順に見せることでたし算の順番を意識させる。 • SKYMENU Class(発表ノート)を活用して、自分の考えを生み出す。さらに、発表に生かす。 • 端末の評価問題において、たしかめの計算もできるような形式で提示する。

＜ループリック(評価規準)…ゴール＞

- たし算をした答えが正しいことを、たされる数とたす数を入れ替えて計算し、たしかめをすることができる。

＜本時の目標＞

- 具体的場面で、加法の交換法則が成り立つことを理解し、それを活用して加法の計算の確かめをすることができる。(知識理解、技能)

	主な学習活動	ICT活用のポイント	評価の観点
導入	○問題の提示	• PowerPoint を使って、お話の順に提示する。	
展開	○問題文を配布し、問題に取り組む。 ○式と筆算と答えを発表する。 ○「しょうた」さんの考え方を提示する。	• 「発表ノート」を使って問題文を配布する。 • タブレットを活用してホワイトボードに写し、発表する。 • PowerPoint を使って提示する。	
	【課題】 2つの考え方のちがいをみつけよう。		
まとめ	○みんなの考え方(「あおい」さんと「しょうた」さんの考え方の違いを見つける。 ○同じところを見つける。 ○別の問題をやってみる。(一般化) ○たし算のひみつ(きまり)を見つける。	• PowerPoint を使って、「たされる数」と「たす数」の言葉を押さえる。	* たされる数とたす数を入れ替えても答えが同じになることを理解する。
	たし算では、たされる数とたす数を入れかえて計算しても、答えは同じになる。		
	○確かめ算に活用できることを説明する。 ○配布された評価問題を解く。	• 発表ノートで作成した評価問題を配布する。	* 確かめ算をすることができる。

いちごつみを しました。
2人 合わせると 何こ つんだでしょう。



パワーポイントを活用して問題を提示するページ
26こを先に提示し、19こを後に提示することで、
26+19
へ導く。



ひっさん

しき

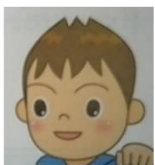
発表ノートを活用して、26+19の答えを求めるページを全児童に配布して、取り組ませる。
できた児童から提出させる。

答え



あおい

$$26 + 19 = 45$$



しょうた

$$19 + 26 =$$

パワーポイントを活用して、しょうたさんがみんなと違う式を考えたことを提示するページ

しょうた



ひっさん

しき

$$19 + 26$$

答え



発表ノートを活用して、しょうたさんが考えた
 $19 + 26$
 の答えがどうなるのか考えるページを配布して取り組ませ、
 できたら提出させる。
 答えが同じになることに気付かせる。

たされる数

たす数

答え

$$\begin{array}{c} \text{○} 26 + \text{△} 19 = \text{□} 45 \\ \text{△} 19 + \text{○} 26 = \text{□} 45 \end{array}$$



パワーポイントを活用して、たされる数とたす数を入れ替えても答えが同じになることを押さえるページ

バーを大きく



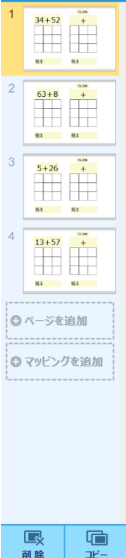
たしかめ

$$34 + 52$$

+

答え

答え



発表ノートを活用して評価問題を4問用意したページ